The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第88輯　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2007, 88
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69091
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

今号は、平成一八年四月に着任された加藤洋介准教授の論文を含む、五編の論文が掲載されました。特集を組んだというわけではないのですが、偶々、国語学も含めて、すべて中古の作品を題材とした論文が並びました。

研究室の人の動きとしては、平成一九年三月を以て海野圭介助手が就職のため転出し、代わって仁木夏実氏が助教に就任しました。なお、この四月より、助教授が准教授、助手が助教と呼称を改めました。これは法律の改正に伴うことで、全国大学で一斉の変更となっています。

また春の叙勲では、島津忠夫名誉教授が、瑞宝中綬章を受章されました。嬉しいお知らせとしてご報告申し上げます。

さて、日本文学・国語学の研究スタッフの活動として、これまでの伝統的な研究・教育のスタイルを維持しながらも、新しい共同事業、国際連携事業が目立っています。本年三月四日には、文学研究科と人間文化研究機構・国文学研究資料館の共同主催により、「国際日本文学共同研究集会　国際的相関研究のありかと行方」がグランキューブ大阪で開催されました。また、飯倉洋一教授を中心とする「忍頂寺文庫・小野文庫の研究」共同研究グループと国文学研究資料館の共同事業が進行中であり、三月に論文集が発行されました。さらに、荒木浩教授はハーバード大学・ライシャワー研究所との共同研究を進行中であり、研究員の受け入れや、現地でのシンポジウムが計画されています。こういった新しい事業の進展が、本誌の内容に反映される日も近いことでしょう。

（金水敏）

語文　第八十八輯

平成十九(二〇〇七)年六月二十五日　印刷
平成十九(二〇〇七)年六月三十日　発行

編集・発行者　大阪大学国語国文学会

〒560-8532　大阪府豊中市待兼山町一―五
大阪大学大学院文学研究科
日本文学・国語学研究室
代表　蜂矢真郷
振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一
電話　〇六―六八五〇―五一一一

印刷　亜細亜印刷株式会社